

## 発電体験、子どもも大人も夢中に

2021年11月20日（土）、21日（日）、23日（火・祝）の3日間、河内長野市にある関西サイクルスポーツセンターで、「関西サイクルロハス」が開催されました。全体企画では、SDGsを学ぶクイズラリー、形が悪いだけの食品やコロナ禍で行き場がなくなった食材を販売するフードロス専門店や古本交換のコーナーなど、持続可能な社会を考える生活様式を意識した出展企画が多数ありました。

出展のひとつに河内長野市のCOOLCHOICE事業の紹介ブースがあり、PAREは、その運営にあたって大阪府温暖化防止推進センター（大阪府みどり公社）から委託を受けたCASAに協力して、省エネ家電や省エネなライフスタイル、自然エネルギーの情報を提供するコーナーを担当しました。

20日（土）と21日（日）は好天に恵まれ穏やかな日差しの中、多数の家族連れが訪れました。23日（火）はあいにくの曇天で若干の雨もあり、前2日間に比べるとさすがに訪れる方は少なかったですが、私たちのブースには客足は絶えませんでした。

受け持ったコーナーでは、自転車発電体験・手回し発電体験（各種）・太陽光発電 PARE の N ゲージ（電車模型）、風力発電器の活用・啓発パネルの展示（COOLCHOICE、ZEH）・啓発チラシの配布・アンケート実施を行いました。

自転車発電は、発電機にラジカセを接続し、がんばってペダルをこぐと楽しい音楽が聞こえます。スタッフが演示してアニメのウキウキする音楽を聴かせると、子ども



達がよってきて交代で自転車をこぎました。音楽が鳴り出すと嬉しそうでしたが、「ああしんどかった」と声をあげていました。関西サイクルスポーツセンターは自転車体験中心の施設なので、自転車発電コーナーは好適でした。

手回し発電体験は、LED と白熱豆電球の発光の比較、音や回転力、発熱に電力を送る機器、またNゲージ（9mm幅レール）の模型電車を走らせる体験のコーナーなどでした。

模型電車は、子どもたちは興味津々で、手回し発電機を回すと機関車が走っ



て「わあ」と歓声があがっていました。20日と21日は好天だったので、模型電車のレールに太陽光パネルを接続して日向に出しておく、機関車が太陽光パネルの電力だけで走って、通行の人々の目を引いていました。

風力発電器は、PAREのスタッフが独自開発したセットで、うちわでプロペラをがんばって扇ぎ、発電機を回転させるとLEDライトが点灯します。そのとき電流計で電流量を測定します。ライトが点灯するだけでなく、電流が計測できるので子ども達も汗をかくほどがんばって扇いでくれました。

子ども達だけでなく大人の皆さんも多数体験して頂きました。子どもさんがチャレンジしている合間に、ご家庭でのエコ生活についてのアンケートをお願いしました。

（ボランティア 古畑 等）